観光立国

07年1月、観光立国推進基本法が施行され、日本は観光立国に向け、大きくかじを切った。6月に は推進基本計画も策定され、今年は「実行の年」となる。法の立案、国会での成立、施行に力を尽く した愛知和男・自民党観光特別委員長と民間の立場から支援した舩山龍二・日本ツーリズム産業団体 連合会(TIJ)会長にご出席いただき、観光立国実現に賭ける熱い思いを語っていただいた。司会 は江口恒明本社社長(東京・紀尾井町の「福田家」で)



日本ツーリズム産業団体 連合会会長 舩山 龍二氏

天

取

う試みが行われている。JTいの各町で桜を植えようとい

年を記念して、

念して、日中間の交流日中国交正常化35周

拡大に取り組んでい

るが、

れって1つの外交でしょ。

想を持つと、全く違ってくる。

舩山

私の田舎の最上川沿

げてほしい。

はなく、作っていくという発

శ్ర

あるものを活用するので

しの心自体が観光資源にな

Bもお客さんから100円ず

ついただいて、

集まったお金

た人はどう成長しているのかを植樹にあてる。 苗木を植え

誇りを持ってもいい。 (笑い)。 観光業界はもっ相以上に外交をやってい

| 観光業界はもっと| 外交をやっている

の活力を生む 官民協力して実現にまい進

の数が減るということは生産者の役割を果たしている。そ生産者と消費者、そして納税1つは人口減少の時代。人はつまり観光ということ。もう あり、観光というものが大き来てもらう。そうした状況もく観光だ。 さらに外国からも る。国民の購買、消費活動にそこそこ満足できる状態にあしかし、衣食住については せるにはどうしたらいいかと下で経済を活性化し、成長さるということ。そういう状況者、消費者、納税者の数が減 人を外に出す。これはまさしい。家の中にとどまっているであれば、人を動かすしかないうのは難しくなっている。 済運営で経済を活性化すると 期待する従来の内需主導型経 いう問題に突き当たる。 るとは言えなくなった。極端界から親しまれ尊敬されていいのない。若果、必ずしも世帯ののので、感動を覚えた。かなか名文で、感動を覚えた。かなか名文で、感動を覚えた。

野党一致でできた。これはぜ的には共産党まで賛成し、与いろな経緯があったが、最終愛知 法成立までにはいろ を転換する必要がある。そうかった。このようなイメージも出したが少しも評価されなな話、湾岸戦争の時に9億ニー 誠に時宜を得て ひ強調したい 言は一種の政策転換であり、 いう意味で、 今の観光立国宣 వ్త

たわけじゃなく、法律をちょえば祝日3連休。お金を遣っる数少ない分野だと思う。例 舩山 観光は経済効果が出 ıŹ

題音特別対影

`クローズアップしてきた。

のためのプログラム、例えば、光だと思う。議員の方々に頑化のキーワードは、農業と観地域格差の問題だ。地域活性化のまーワードは、農業と観地域格差の問題だ。地域活性 都市と農村の交流とかエコツ

って動いたのは初めてであいになって愛知先生はじめ、ら野党、関係省庁に働きかけらまた。民間団体が一丸とないになって愛知先生はじめ、経会議(14団体で構成)が中格会議(14団体で構成)が中格会長連目指し、観光関係団体会長連目指し、観光関係団体会長連 臣折衝で決まるが、私たちもないが整理はした。最後は大ならない。詳しいことは言えと、どこかをつぶさなければ ぜひ実現したい。 力のある先生の力も借りて、 頑張る。二階党総務会長など 大きな自信になった。

一一庁を作るにも時間がかかった。省となると...。 愛知 確かに時間はかか で、そこの時代がしばらく で、で、その後に省に昇格す で、その後に省に見れかかった。省となると...。 っている。これじゃ非効率だ。いいが、他の省庁も観光をや交省の中に観光庁を作ったはしかないのではないか。「国る。そういうプロセスでいく っていかなければならないだいう議論に、なるべく早くもでは内閣府の下に置くか」と

ると思う。それを取り込むた 中国も万博後に爆発的に伸びク以降海外旅行が爆発した。 年からインとアウトが逆転し本の場合、70年の大阪万博の 発になるきっかけとなる。 日験しているが、 国際往来が活 ぎを握るのは中国だ。 8年にや台湾の勢いがすごいが、か た。 のパターンは我々も過去に経10年には上海万博がある。こ は北京オリンピックがあり、 韓国も88年のオリンピッ けると思う。韓国

再生機構に期待

ことで大いに期待したい。民域力再生機構」ができるとのて直す趣旨で、政府出資の、地話まった地域の企業などを立結まった地域の企業などを立 やに聞いている。我々観光業間の再生ファンドも出資する 界も自立して、販売力やプロ

る、入れさせるということで、ら(笑い)。 概算要求に入れにつけるなんてあり得ないかた。 財務省のほうから積極的

かなり関係当局とやりあっ

新しい組織を作るとなる

→記E外客1千万人は達 一記E外客1千万人は達 ――訪日外客1千万人はまる国は世界にたくさんある。

はある程度、残す方向でいものがたくさんある。 なくてはならない にしても文化資源にふさわしなくてはならないもの、旅館 るべきだろう。 愛 知 地域の観光にとって 残す方向で考えくさんある。それ

れからは中央だけでなく、地っておかしくないと思う。こ日旅さんももっと上位に上がたことはない。近ツーさんや

地域に誇りを持ち、オリジナは長く時間がかかっている。効果もある。そこまで来るにがまた高く売れるなどの相乗 った。また、有機農業の視察学者がたくさん来るようになるようにした。それを見に見かけてコウノトリがまた住め も非常によくなった。豊岡米農家も周辺を奇麗にし、景観 者も多くなった。そうすると

もなくなる恐れがある。 難しいのでは。地域を代表すぶす、つぶさないの線引きが

る銀行がそのホテルに限って産的存在であったために、ある歴史的なホテルで、文化遺 計画は地域観光にとって危険算だけがすべてといった再建 やむを得ない面もあるが、採債務免除したそうだ。 再生は 場合によっては元も子

リの放鳥の話だ。昔はたくさ豊岡市の4年振りのコウノト って環境改善に取り組んだ。んと、行政、住民が一体とな り、全滅した。これではいの使いすぎでエサがなく 念をもって観光地づくりに取 化学肥料を使わない有機農業 り組んでいるところはお客さ に転換するなどして、 ん生息していたが、 んも来る。最近感動したのは、 行政、住民が一体とな 化学肥料 40 数 年 な の人が企画し、地域の学者が域でなければ作れない。地域コツーリズムにしてもその地口ではと観光客も来ない。ニューリーと観光客も来ない。ニュ ん作っていく時だ。大手旅行が主体的にブランドをどんど説明するという具合に、地域 っていくようなシステム連携 して作られたものを我々がさ業ではできないことだ。そう らに付加価値を付け全国で売

ここ20年はベスト10から落ちはいつも上位にランクされ、舩山 おかげさまでJTB

から落ち

おかげさまでJTB

た。ところが、何もよりになれないと考えがちだっ と、名所・旧跡、温泉などを愛知 今まで観光という はそこに気づくかだ。もてなる。何でも観光になると。要 が逆に受け入れられたりすた。ところが、何もないこと 含めて、何かないと観光客は をこれから強化すべきだ。 熱を持って働こうという人材の住んでいる地域に誇りと情域の大学で観光を学び、自分 確保を心がけたい。 愛 知

観光というのは平和

と。若い人には理想を高く掲の平和に貢献するというこに身を置くということは世界 つながる道だ。だから観光業理解が深まる。これは平和に 盛んになって人が行き来をすと密接に関係がある。観光が るようになるとお互いに相互

する学生は多い 学部・学科を設ける動きも出でおられ、また大学に観光系 上がりつつあるが。 ており、ようやく機運が盛り 旅行会社に就職を希望 のだが。

でおられ、また大学に観光系TIJなどは熱心に取り組ん はまだ十分にできてい 大事だ。観光業界の人材育成

してほしい

舩山

観光地でもそう。信

ければならない。そういう目社員の給料も世間並みにしな 性を高め、社会に貢献しつつ、れるには゛業゛としての有用 でみると旅行業はまだまだと けない。当然だが税金も納め、 然るべき利益を上げないとい フワーク。 にしようというのが私のライ いう感じだ。 産業界から認めら

っと変えただけで、 最終 の心が観光資源だ ろう。 観光省」 和することも検討すべきだ。か、ビザの要件をもう少し緩めにも、個人旅行を認めると

り呼応して リズム・ ていく。 たい。我々もしっかという流れを作って 元庁が観光政策全般

工労働部といった中に置かれ 船山 一昔前は、観光は商

衆院議員・自民党観光

和男氏

特別委員長

愛知

考え方を変えることによってせることが分かった。観光は

大きなムー ブメントを起こせ

常に多くなった。東京都はも光所管、を設ける自治体が非 が言われる中で、横断的な、観ていたのだが、縦割り限界論

山梨県や群馬県、長

緒や地域の一体感などを無視外資や異業種の場合、温泉情

るケースも増えている。特に、 また、外資や異業種が買収す

して旅館経営するだけに、

秩

愛 知

全くその通り。

それ

考えなければいけない。した責任もないとは言えない。

しか

る。我々旅行業者がせっつい

経済活性化しつつ、結果とし

あまねく国民にアピー

6ねく国民にアピールし、そうした観光の重要性を

て世界からも親しまれるとい

となる。観光庁といっへんの整理はまた 観光推進本部というのを作っ野県も昨年できた、長崎県は ちろん、

しい。いずれは省にしなけれころを取り込むというのは難うのは国交省の中の一組織で次の課題となる。観光庁とい ばいけない。 しい。いず! ころを取り!

すれば、 いる感じだ。 い る。 国よりは先に進んで

な目標はやはり観光省。 実際、

、本当により本物になはやはり観光省。実現 観光省を持つ 序が乱れるとの指摘もある。

全くなくなったわけではないして昔は工場誘致があった。る。活性化する手段の1つと

的に大きな課題となってお愛知 観光(振興)は政治

たのが、07年1月に施行されれのが、07年1月に施行されませの原動力となる法律を作いう方向性を打ち出し、かつ「観光立国」を目指すんだと「

だと思う。

愛 知

法の目指す

べき方向

うのは、

なかなか立派な国策

てどんな認識をお持ちか。

愛知先生は観光に対し

入ってくるようになった。背中には観光という言葉が必ず

が、新しい法律ともいえる。厳密には観光基本法の改正だた 観光立国推進基本法」だ。

観光庁ができると「日本は新すのが「観光庁」だと思う。に動く、法が本物になるかど

り、自民党の打ち出す政策の

景には地域経済の疲弊があ

化するか。

人、人の誘致だと気づいた。化するか。いきつくところは

景の下に作られたものだ。

たう。

まずはそこが勝負だっ

光が重要になるという時代背

た。つまり、

これから国際観

算概算要求の時点で創設をう自信を持っている。来年度予 の抵抗も相当強い。 を知 現時点では、かなり の抵抗も相当強い。

できない中で、では何で活性国に置く時代だ。誘致が期待

クと海外旅行の自由化があった。直後に、東京オリンピッ

Bに入社したころにでき舩山 観光基本法は私がJ

な」ということが実感を持っしい時代に向かって進むんだ

て受け止められるだろう。

法に反対はなし

が、今は工場は地方よりも外

識的に考えるとかなり難しいているように金融政策面からているように金融政策面からできるかどうか。 常なことができるかどうか。 常なことができるかがとうか。 常なことができるかがとうか。 常

観光特別委員会で、

考えなければならない。

が大事ではないか。 営者、地域の決意というもの してなるものかという旅館経 し強制はできない。外資に渡 舩山 金融機関にしてもつ んも同じだろう。また、航空 会社だってそう。どこもサバ イバルにもがいている状況 だ。また、今までの各地の観 だ。また、今までの各地の観 だから、今度は住民始め、皆 だから、今では住民始め、皆 愛 知

違うから、 各地で頑張っている人たちの しゃ から、知恵と工夫で勝負らだ。モノを作るのとはいるいろ知恵を ってきた面もある。総合的に観光地としての魅力がなくな建てたため、景観が損なわれ、

住民を巻き込め

進しない。地域住民を巻き込まないと推りて住民と書いてあること。 担い手は国、地方自治体、その重要なポイントは、観光の愛知の観光立国推進基本法 舩山 「住んで良し、暮ら

に続く人材を育て上げるのもっていただきたい。 舩山さん 愛 知 舩山さんにぜひ頑張 る。観光産業を誇りある産業るという意味で歓迎していが、観光委員長に他の産業のが、観光委員長に他の産業のが、観光委員長に他の産業の が 、 ^乳山

ションなど無計画、無秩序に し同時に、醜悪な看板、マン

-受け皿の1つである日 それも老舗が倒産し ればならない時代だ。

な思い JTBもここ10年死ぬよう をして、リストラに取

たな仕組みを作っていかなけ力など総合力を発揮して、新モーション力、需要創出提案 り組んできた。これは他社さ 裏目に出ているところもあ 団体中心で、施設の大型化が 舩山 伝統的な観光地でも が、旅行業者はその意味を真

本旅館、

廃業したり

している。

う

共生という言葉が出た

そのための観光立国推進基本づくりに取り組んでほしい。 し、地域一体となって観光地愛知 旅館と旅行業が共生

生かしながら、必死になっては、各観光地が旅館はもちろは、各観光地が旅館はもちろは、各観光地が旅館はもちろいたちのオリジナリティーをがたちのオリジャリティーを大切にして、生かりディーを大切にして、生かり な狙いではないか。 れがやっぱり観光立国の大き 磨きをかけてやっている。そ

ているが、 産業として本物ではないと思な人が会長にならなければ、 う気がしてならない。 ぜ味の素が委員長なんだとい ならば、まず舩山さんのよう いう名前が付く委員会であるう気がしてならない。 観光と は非常にい 批判ではなく、 い方で、尊敬も.

愛知 日本経団連の中えるとまだ基盤は弱い。 が味の素の会長だった。 光委員会があるが、初代会長 日本経団連の中に観 会長 な

100年もすれば世界

まさに観光は作れるというこ

遺産級となる。 観光を産業としてとら